

早期の経営安定と期待、信頼される組合目指して



池田町の県発注の公共事業「保安林緊急改良事業第6号工事」を受注、現在施工中

組合員の皆様をはじめ、組合を守っていかねばならないという、県、市町村、地元企業等多くの皆様方のご理解とご支援のおかげで、令和元年度決算では、事業ベースでようやく黒字を達成することが出来ました。しかし、令和2年度以降も黒字を確保し安定経営を図っていくには、マンパワー不足を早期に解消、更に増員し事業実施体制を確立、目標事業量を確保していく必要があります。集中改革期間の終了する令和2年度までに経営の安定を図るため、県及び長野県森林組合連合会からも引き続きの人的支援をお願いしながら、自助努力での人材の育成、新たな人材確保を行い、主要事業であります森林整備等の事業量の増はもとより、新しい分野での事業獲得と新たな事業展開を積極的に行うことなどにより、経常損益でも安定的に黒字化することにより、組合の早期再生と経営の安定経営を図ることとしております。

また、県からの損害賠償請求など、まだ大きな課題はありますが、県民の皆様を始め県や関係機関のご理解のもと早期に決着を図り、組合の安定経営と多面的な機能を持ち合わせた魅力ある森林づくりを通して、地域の林業振興などの中核的な役割を果たすことの出来る組合を目指し全力で取り組みます。つきましては、組合員の皆様、県、市町村、関係機関等、多方面の皆様の全面的なご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

本年度から総代にご就任頂きました皆様には、これから3年間、組合運営等にご協力をお願いするとともに、来年度、理事等の役員の改選期を迎えますが、未だに役員が選任されていない未選任地区がございます。今後、組合が安定した経営を目指すためにも、様々な経験と意欲を持った役員が必要であり、総代の皆様には是非とも次期役員の選任にご協力をお願い致します。

なお、今年3月末までの3年間、総代として、参与員として組合を支えていただいた組合員の皆様や、補助金問題が発覚当時から総代になっていただいた皆様には、組合事業経営計画及び補助金返還計画の策定、元専務理事への損害賠償請求、旧役員の責任問題、県からの損害賠償請求など重要な案件等にご審議、ご判断をしていただいたこと、また、ご多忙の中、組合と地元役員、組合員との間のパイプ役になっていただいた皆様のご労苦と、ようやく令和元年度決算で黒字が実現できたことも組合員、総代、参与員の皆様のご理解、ご支援のお陰と心から感謝申し上げます。引き続き組合へのご支援をお願いするとともに、組合員の皆様方のご健勝とご活躍をご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

大北

森林組合便り

発行所
大町市平10788-1
令和2年7月発行
大北森林組合
電話 0261-22-0711

代表理事組合長 西澤 清

第39回通常総代会を開催しました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、書面での議決権行使に協力をいただき、本年4月から新しく就任された総代のうち、出席総代35名、書面による出席総代138名により、通常総代会を令和2年5月26日に開催しました。

令和元年度決算で、事業ベース及び単年度収支で黒字となったことなどを報告、承認されました。

令和2年度計画でも引き続き黒字化を目指し、経営の安定を図るための事業計画案、予算案など提出議案はすべて提案どおり承認されました。

☆ 総代会の資料は、組合員の皆様には当組合事務所の窓口でご覧になれます。



1 令和元年度事業及び決算報告

令和元年度は、高度な伐採等の技術、経験を生かし事故のない伐採作業等を評価していただき、森林土木の新しい分野での大きな仕事の受注をいただいたこと、職員、作業員、協力事業体が一体となって組合再生のため頑張った結果、令和元年度決算で、事業収支と当期損益で黒字を計上することができました。

令和元年度決算と過去3年間の損益の状況

(単位：千円)

		令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	
一般事業	指導事業	収益	124	174	125	28
		費用	2,591	2,911	2,402	2,741
	販売事業	収益	68,657	40,795	36,436	37,496
		費用	43,325	24,580	20,577	21,142
	加工事業	収益	4,005	10,812	6,083	6,934
		費用	2,528	8,261	4,335	5,709
	森林整備事業	収益	153,455	87,669	80,358	69,635
		費用	117,865	74,078	69,974	60,829
森林経営事業		収益	3,462	—	—	—
		費用	2,343	—	—	—
事業総利益(損失)		61,051	29,620	25,714	23,672	
事業管理費		44,863	42,768	53,881	85,820	
事業利益(損失)		16,188	-13,148	-28,167	-62,148	
事業外損益	収益	1,254	3,523	1,307	3,255	
	費用	2,506	2,730	2,536	3,102	
経常利益		14,936	-12,355	-29,396	-61,995	
特別損益	収益	—	27,636	13,184	74,212	
	費用	1,567	3,626	11,005	199,794	
税引前当期損益		13,369	11,655	-27,217	-187,577	
法人税、所得税、事業税		-183	-183	-183	-183	
当期剰余金		13,186	11,472	-27,400	-187,760	
前期繰越損金		-165,207	-176,679	-149,279	28,480	
当期末未処理損益金		-152,021	-165,207	-176,679	-159,280	

(注)

- ・森林経営事業：組合自ら所有している森林等で森林経営を行っている事業は、一般事業と分けて会計を整理することになっています。
- ・繰越損失金が大きく計上されていますが、これは元専務に対し損害賠償請求し和解、損害賠償金を支払う約束をしましたが、現段階では回収の見込みがないことから計上してある未収金(158,000千円余)を平成28年度に貸倒引当処理してあるため、繰越損失金が多額になっています。資金回収に全力で取り組みます。

2 平成2年度の目標、事業計画、収支計画等（主な事業方針、目標等）

- (1) 事業ベースで2億円の収益で、当期損益で1,200万円の利益に、2年続けての黒字を目指し、組合員の皆さんに安心してもらえる組合と安定経営に向かって進みます。
- (2) 伐採等技術、経験を活かし、事故のない安全で丁寧な仕事をする事で、安心して任せ、頼りになる組合を前面に、森林整備事業以外の新しい分野での事業も増やし、継続的、安定した事業の確保を図っていきます。
- (3) 不足している人材の確保が急務であり、職員、作業員等の育成を積極的に行います。
- (4) 県からの損害賠償請求の早期決着により、過去の課題を早期に解消し、5年に一度の補助金等返還計画の見直しにあたり、補助金の多くは森林整備等に使い、地球温暖化防止や災害のない豊かな森づくり等に貢献し、県民の生命財産を守っていること等を県民に理解をしていただき、県に返還額の減免を求めていきます。
- (5) 補助金等不適正受給期間中の役員の責任問題について、未だにご理解をいただかず、報酬の返納がされていない旧役員については、弁護士と相談し返納を強く求め、この問題に終止符を打ちたいと思います。

※詳細は組合でご覧いただけます。

組合からのお知らせ

生活必需品をより安く！組合でお買い求めください。

1 信州ハム詰め合わせ 3割引き

(商品、販売価格等は、同封のチラシをご覧ください。)

なお、申込期限は8月4日(火)まで延ばします。)

恒例のお中元に「信州ハム」をご用意ください。全品3割引きです。コロナウィルス感染拡大防止の「新しい生活様式」「三蜜」対策のため、家族でのバーベキューの食材としていかがですか。お歳暮も3割引きで販売いたします。11月頃組合にお問い合わせください。

2 車の夏冬のタイヤ交換に一番人気のブリヂストンタイヤを!

ブリヂストンタイヤが店頭価格より、15%引きにて購入できます。購入希望者には、専用の組合員証を発行しますので、組合までお越しください。

3 秋になると家の中まで侵入してきて困ってませんか

「カメムシ」に、「シロアリ」忌避に、コロナウィルスなどウィルス対策に天然素材抗菌、除菌剤として!

安心な自然素材100%の青森ヒバの木から抽出した油成分を使った「ヒバの力」、菌やウィルスに対しても、アルコール消毒液と同様の効果のある「抗菌・除菌剤」、カメムシ対策用忌避剤の「カメムシ・アリ忌避剤」、ヤマビル、ダニを寄せ付けない「ヤマビル・逃走虫」など販売しています。詳しく知りたい方は、組合に見本があります。組合のホームページでもご覧いただけます。

組合員の名義変更の手続きをお願いします。

組合員の方がお亡くなりになったなどにより、所有の山林を相続された場合などは、組合員の名義を変更する必要があります。この場合名義変更届を相続開始から10か月以内に届けることとなります。詳しくは組合にお問い合わせください。

支障木の特殊伐採をご用命ください。

親切、丁寧な仕事が自慢です。



クレーン車が使えない場所も、人力だけで伐採。



トピックス

○ 産業廃棄物収集運搬業の許可を取りました。

建設工事等で立木を伐採して発生した、枝葉、根などは「木くず」となり産業廃棄物となります。産業廃棄物としての「木くず」の収集運搬という新たな事業にも積極的に参入してまいります。

○ 長野県SDGs推進企業登録申請をしました。

SDGsとは、「持続可能な開発目標」といい、2015年の国際サミットで採択された、国連加盟の193か国が2016年~2030年までに達成を目指す国際目標を言います。「環境」を守っていく。「社会」の一員としてひとり一人の人権を尊重する、「経済」活動を通じて富や価値を生み出していく。この大きな3つの柱にし、誰一人取り残さない世界の実現のため、17ゴール、169ターゲットにした目標設定です。組合も企業の一員として、特に森林整備等によりCO₂の削減など、深刻となっている地球温暖化防止等、組合の事業を通して持続可能な開発目標達成のため、意欲的に取り組む企業として登録申請をしました。登録になりますと県のホームページに掲載、組合のホームページでも搭載します。組合員の皆様も一緒に取り組みにご協力ください。

○ 研修期間を終え新たに3人を

作業員として採用しました。

一人前になるには未だ期間がかかりますが、組合員の皆様のため一生懸命頑張りますのでよろしくお願いたします。



○ 組合期待の3年目となる作業員等



実践研修を続け、もう少しで一人前

私たちの山仕事をご紹介します

県発注の公共事業の「保安林緊急改良事業第6号工事」池田町会染地域中心に26か所の工事を請負

アカマツの被害木を皆伐し、下層の広葉樹を残す更新伐 急峻な山で枯れたアカマツの伐採という非常に危険な作業



伐採中に枯れたアカマツが途中から折れて、落下することなどある非常に危険な作業

危険な場所での伐採作業

大町市常盤西山地区 工場用地造成工事に伴う立木の伐採、集積、造材等工事

地元建設会社のご協力により下請けとして受注 約7ヘクタールの立木の伐採、集積造材、用材の販売等を請け負う



伐採前の山林

プロセッサ等による枝落としと玉切り作業



次々と伐採されるアカマツ

玉切りされ集材された用材

現在は大きな工場を建設中

伐採・除根後次々に整地

建設事務所発注の防災、安全交付金総合流域防災工事

高瀬上橋上・下工区の河川敷の立木の伐採等工事を地元建設会社のご協力により下請け工事として受注 2工区合わせて約12ヘクタールの立木伐採



伐採前の鉄橋の姿

立木の伐採等で、鉄橋、国道の橋が見え、すっきりした河川敷